

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	安全な感染症予防等が期待できるヒト免疫記憶細胞の 体外での製造方法の開発 (ヒト免疫記憶細胞の製造方法の開発)
研究期間 (西暦)	2019 年度～ 2022 年度
研究機関名	埼玉医科大学 アドミッションセンター
研究責任者職氏名	講師 徳元 康人

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

私たちの体には、一度侵入した病原菌や異物が再び侵入してきた時に、より早く、より強力に排除する免疫記憶という仕組みがあります。免疫記憶は免疫記憶細胞（メモリーリンパ球）という特殊な細胞が何 10 年間も体の中で生き続ける事によって保たれています。このような長い寿命を持った細胞がどのようにして出来るのか、実はよく分かっていません。そこで私たちはメモリーリンパ球を体の外で人工的に作ることにしました。そうすることによって、体の中でメモリーリンパ球が出来る仕組みがよく分かるようになると考えたからです。メモリーリンパ球がどのように作られるのか理解することが出来れば、ワクチン注射によらない安全な感染症予防や、免疫を利用したがんの治療法などの新しい技術が生まれてくる可能性があります。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：全血（規格外）、白血球除去工程後のフィルター
献血血液等の情報：採血日時、血液型

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：行いません。行います。

《研究方法》

いただいた全血やフィルターから、まだ一度も病原菌や異物にさらされたことが無い若いリンパ球（ナイープリンパ球）を取り出します。取り出したナイープリンパ球を試験管内で培養して、その培養液中に異物や色々なホルモンやタンパク質を与えることで、ナイープリンパ球がメモリーリンパ球へと変化するのに必要な条件を調べます。

5 献血血液等の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記 5 を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

本研究に関する問い合わせ先	
所属	埼玉医科大学 アドミッショングセンター
担当者	徳元 康人
電話	049-276-2031 (直通)
Mail	tokumoto@saitama-med.ac.jp